

令和2年度事業報告

令和2年度事業計画（令和2年4月1日～令和3年3月31日）に基づき実施した事業の概要について報告する。

1 総括（新型コロナウイルス対策の推進、警備員教育の更なる充実）

昨年度は、新型コロナウイルス感染予防の観点から、全警協が策定した「感染予防ガイドライン」の遵守を始め、例年実施している各種施策を大幅に縮小した一方で、警備員不足解消を目的にしたイベントへの参画、「警備業における適正取引推進等に向けた自主行動計画」の活用による労務単価向上対策等を推進した。

また、教育事業については、受講希望に応えるため講習計画を見直し、時期を変更して開催し、会員の皆様のご期待におおむね応えることができた。

2 組織の充実強化

(1) 会員数

ア 正会員

54社（令和3年3月31日現在）

令和2年度中、2社が退会し、新たに6社が入会したことにより、令和3年3月31日現在、正会員数は54社である。

組織の基盤を強化するため、今後も、労務単価の向上を始めとする勤務環境の改善等に努めつつ勧誘活動を促進していく。

（令和3年3月31日現在）

	4条業者	9条前段業者
県内業者数	60社	24社
協会加盟社数	40社	14社
協会加盟率	66.7%	58.3%

(2) 業界連携

ア 全国警備業協会及び他県協会との連携

令和2年度は、新型コロナウイルス感染予防対策の推進を始め、適正警備業務の実施、暴力団等反社会的勢力に関する情報収集や排除活動の推進、「11.1 警備の日」の広報活動への取組等に関する連絡調整や各種アンケート調査、特別講習等教育事業の効果的な推進等を通じ、会員と全国警備業協会等との間で緊密な連携を図った。

イ 業界会議等への出席

業界の当面の諸課題等を協議するため、次の会議に参加した。

月日	場所	会議の名称	備考
9.30	東京都	全警協理事会	会長 Web 会議
10.19	岐阜県	秋季中部地区警協連合会会長等会議	会長、専務 出席
11.12	東京都	「警備の日」全国大会	専務 Web 会議
12. 3	東京都	全国警備業協会理事会	会長 Web 会議
2. 初旬	富山県	北陸3県会長等会議	会長、専務 書面議決
2. 4	東京都	全国警備業協会事務担当者会議	主事 Web 会議
3.26	東京都	全警協理事会	会長 Web 会議

(3) 会議・委員会等の開催

各種事業の効果的な推進を図るため、委員会等を次のとおり開催した。

月日	場所	会議の名称	協議事項等	備考
4. 下旬	協会	公安委員会受託講習講師担当者会議	・令和2年度指教責講習等の講師委嘱と推進要領の協議	書面
5. 初旬	協会	第1回総務委員会	・理事会提案案件の協議	書面
5. 中旬	協会	第1回理事会	・定時総会上程議案の承認	書面
5. 中旬	県立図書館	県防犯協会総会	・総会議案の承認	書面
5. 下旬	葵分庁舎	暴追センター理事会	・理事会案件の審議	書面
5.27	協会	令和2年度定時総会	・R1 年度事業報告の可決 ・R1 年度収支決算報告の可決 ・R2 年度事業計画(案)の承認 ・R2 年度収支予算(案)の承認	定足数 充足
7. 2	葵分庁舎	暴追センター臨時理事会	・理事会案件の審議	専務
8. 初旬	協会	第2回総務委員会	・全警協会費の一部減額に係る措置等	書面
8. 中旬	協会	第2回理事会	・全警協会費の一部減額に係る措置等	書面
11.23	ハピリン	ハローワーク DAY in FUKUI	・業界PRと警備員募集	アイビックス2名 専務
11. 中旬	協会	労務委員会	・令和2年度「労働災害防止応募作品」の審査	書面

2. 中旬	協会	教育委員会	・ R3 年度講習計画等	書面
3. 4	葵分庁舎	暴追センター理事会	・ 令和 2 年度事業報告等の審議	専務
3. 初旬	協会	第 3 回総務委員会	・ 第 3 回理事会上程案件の協議 (令和 3 年度事業計画 (案) 及び令和 3 年度収支予算 (案))	書面
3. 中旬	協会	第 3 回理事会 (予算)	・ 令和 3 年度事業計画(案)の審議 ・ 令和 3 年度収支予算(案)の審議	書面

3 適正警備業務の推進

警備業務の実施の適正を図るため、全国警備業協会、監督官庁の県公安委員会（県警察本部）、労働局等との緊密な連絡体制を維持し、関係法令の解釈・運用並びに適正警備業務の実施に関する指導・指示を受け、その都度、これを迅速かつ適切に会員宛てに周知伝達したほか、労災事故防止、経営者研修会等の開催、暴排活動への積極的な取組等を推進し、適正業務の実施に努めた。

4 社会的地位向上事業の推進

(1) 警備員教育の充実

警備員の知識技能の向上を図るための「協会が行う現任教育」は、令和元年 8 月 30 日付け「警備業法関連規則の一部改正・交付」に伴い、実施方法を改正し、令和 2 年度中、基本教育（4 時間）を 2 回、業務別教育（6 時間）を 4 回（施設警備業務（1 号）2 回、貴重品運搬警備業務（3 号）2 回）の計 6 回実施した。

教育種別	実施月日	受講者数	備考
基本教育	9 月 17 日 (木)	17 名	
	11 月 19 日 (木)	5 名	
業務別教育 (1 号)	10 月 15 日 (木)	21 名	
	12 月 10 日 (木)	11 名	
業務別教育 (3 号)	9 月 19 日 (土)	19 名	
	11 月 14 日 (土)	13 名	
計	6 回	86 名	

(2) 教育幹部等の育成

ア 特別講習現任講師の更新

特別講習現任講師 18 名全員が資格を更新した。

イ 特別講習新任講師候補者研修会への派遣

新任講師候補者研修会に受講者を派遣し、以下の 2 名が新たに特別講習講師として委嘱された。

氏名	所属事業所	種別
仲田 誠二	日本原子力防護システム(株) 若狭事情部	施設警備業務 2 級
前田 佑次郎	北陸総合警備保障(株) 福井支社	貴重品運搬警備業務 2 級

(3) 労災防止対策の推進

ア 福井県警備業安全衛生大会の中止

新型コロナウイルス感染予防の観点から令和 3 年第 1 8 回福井県警備業安全衛生大会については開催を中止した。

イ 福井県警備業協会第 1 2 回(令和 2 年度)労働災害防止「論文・ポスター・標語」コンクールの実施及び入選作品の表彰

警備員の災害防止に関する意識の改革・浸透を図るため、啓蒙ポスターの掲示を促進したほか、福井県警備業協会第 1 2 回(令和 2 年度)労働災害防止「論文・ポスター・標語」コンクールを実施し、多数の応募作品の中から優秀作品(ポスターの部 2 点、標語の部 3 点)を選考。入選者を表彰し、労働災害防止に対する意識の啓発と安全意識の更なる高揚を図った。

5 地域安全確保活動

(1) 県安全安心まちづくり運動への参加

福井県及び県警察が提唱する「安全安心まちづくり推進会議」に積極的に参画し、推進旬間中に京福バスの車両前面に「11. 1 警備の日」を周知するための広報幕の掲出や、巡回車に防犯広報用マグネット・シールを貼付して、視覚に訴える広報活動を展開した。

(2) 大規模災害を想定した部隊編成訓練の実施

令和 2 年 1 1 月に石川県内で予定されていた中部管区広域緊急援助隊訓練

の規模縮小に伴い当県からの応援派遣がなくなったことから、同訓練への参加はなかった。

(3) 暴力団等排除対策活動の推進

当協会は、昭和57年の警備業法改正以降、警備業からの暴力団排除を重点施策として掲げ、取り組んでいる。

令和2年度は、新型コロナウイルス感染予防の観点から暴排担当責任者（不当要求防止責任者）講習会の開催を見合わせたほか、11月に坂井市内で開催が予定されていた「暴力追放福井県民坂井大会」も中止された。

(4) 関係機関、団体等との連携及び支援活動の推進

福井県、県警察が主催する会議や県暴力追放センター、県防犯協会等に対する活動支援及び協力を行った。また、福井労働局との連携を密にし、警備員の募集活動を積極的に推進した。

6 警備員等の確保（定着）事業の推進

(1) 警備業界のPR

ア 「警備の日」の周知活動

全国警備業協会が提唱する「警備の日」の取組の一環として、福井県安全安心まちづくり推進旬間と「警備の日」までの期間を含む10月から11月の間、福井市内路線バス（8台8路線）の車両前面に「11月1日は警備の日」と書かれた広報幕を掲出し、県民の目に留まる形での広報活動を展開した。

イ 労働局主催の雇用対策への参画

深刻な警備員不足に対応するため、福井労働局との連携を密にし、就職説明会等のイベントに積極的に参画。来訪者に警備業の紹介や社会に果たす役割等をアピールし、警備業界への就職を勧誘した。

ウ 機関紙「警協ふくい」の発行

部内機関紙「警協ふくい」100部を年2回（夏季号・新年号）、部内外に発行し、業界内の動向を報じた。

(2) 警備員の士気高揚

ア 警備業功労者等の表彰（令和2年5月27日付け）

(敬称略・順不同)

表彰の種別	氏名	年齢	事業所名
永年勤続者	川原 伸治	44	(株)アイビックス
	小谷 英典	57	〃
	小川 等司	54	〃
	宮下 明広	42	〃
	内田 利弘	60	福井備蓄保安サービス(株)
	牧田 錠一	58	セコム北陸(株)福井統轄支社
優良警備員	中嶋 義人	41	(株)アイビックス
	大橋 宗廣	37	〃
	猿橋 政彦	37	〃
	森 孝詞郎	50	(株)オーイング
	村中 宏永	41	〃
	増山 収司	54	〃
	吉田 貴士	42	北陸総合警備保障(株)福井支社
	礮部 裕哉	38	〃
	三田村 智之	45	〃
	南 和宏	54	(株)アイメル
	八田 清文	43	〃
	湧口 拓也	28	(株)アイゼン
	宮原 幸一	28	〃
	谷口 裕昭	45	(株)ナショナルメンテナンス福井営業所
	山瀬 光仁	57	(株)アイワン
	山田 実	69	福井ビル管理(株)
	三崎 博正	77	第一警備保障(株)
高木 利博	64	(株)シンエツ. テクノサービス	
生田 裕崇	39	セコム北陸(株)福井統轄支社	
防犯功労者	秋山 修次	64	北陸総合警備保障(株)福井支社

- イ 令和2年度健康増進ボウリング大会（昴会主催）
新型コロナウイルス感染予防の観点から開催を中止した。

7 職場環境の改善施策の推進

令和2年度は、警備員の確保対策として、福井労働局との連携を密にし、イベント（ハローワークDAY in FUKUI）を通じて業界のアピールと警備

員募集に努めた。

その他、各種表彰の上申をはじめ、労働災害防止「論文・ポスター・標語」コンクール等による労災事故防止意識の啓発向上を通じ、職場環境の改善を促した。

8 経営者・幹部研修会等の開催

令和2年度は、新型コロナウイルス感染予防の観点から各種研修会等の開催は中止した。ただし、全警協を始めとする関係機関等からの通知文書の配布等を通じて、経営者・幹部職員としての見識と資質の更なる向上を図った。

9 特別講習事業の積極的な推進

(1) 北陸3県特別講習講師合同研修会

令和2年度は、新型コロナウイルス感染予防の観点から、石川県内で開催予定だった中部地区特別講習講師合同研修会（北陸3県のブロック開催）は中止された。

(2) 特別講習開催状況

新型コロナウイルス感染賞の全国情勢及び県内情勢に鑑み、年度当初に策定した講習計画を全部見直しし、下半期から適時実施することにて受講需要に応えた。

特別講習を次表のとおり計5回開催（施設警備2級2回、施設警備1級1回、雑踏警備2級（北三共催＝石川開催）1回、貴重品運搬2級（北三共催＝福井開催）1回。ただし、交通誘導警備2級1回は中止。）し、受講者総数165名、合格者数119名、1・2級の平均合格率は72.1%（前年対比-0.7ポイント）だった。

なお、令和2年度の受講者数は、前年に比べて89人減少した。

講習種別	実施別	実施月日	実施会場	受講数	合格数	合格率
施設警備2級	事前	9/12・13	中産大			
	本講習	9/26・27	〃	42名	31名	73.8%
雑踏警備2級	事前	9/26・27	石川開催			
	本講習	10/ 3・ 4	石川開催	10名	9名	90.0%
施設警備1級	事前	10/10・11	中産大			
	本講習	10/24・25	〃	44名	26名	59.1%
施設警備2級	事前	11/ 7・ 8	中産大			
	本講習	11/28・29	〃	44名	35名	79.5%

貴重品運搬警備	事前	11/21・22	免許センター			
2級	本講習	12/5・6	〃	25名	18名	72.0%
交通誘導警備	事前	3/6・7	免許センター	—	—	—
2級	本講習	3/6・7	〃	—	—	—
計6回			総計	165名	119名	72.1%
			1級	44名	26名	59.1%
			2級	121名	93名	76.9%

10 警備員指導教育責任者等講習の実施

公安委員会から委託された警備員指導教育責任者講習(1～4号)及び機械警備業務管理者講習を次表のとおり計5回実施した。

受講者総数50名、合格者総数44名で、平均合格率は88.0%(前年対比-0.4ポイント)だった。

また、昨年度は受講者数が前年に比べて7人増加した。

講習種別		実施期間	受講者数	合格者数	合格率
1号	新	10/5～10/13	23	17	73.9%
	追	10/8～10/13	3	3	100.0%
2号	新	11/4～11/11	9	9	100.0%
	追	11/9～11/11	1	1	100.0%
3号	新	11/30～12/7	5	5	100.0%
	追	12/3～12/7	2	2	100.0%
4号	新	11/30～12/4	0	0	—
	追	12/3～12/4	3	3	100.0%
機械管理		12/15～12/18	4	4	100.0%
計			50	44	88.0%

令和2年度労働災害防止
標語等コンクール入選者

【ポスターの部】

特選

「危険 暑さに 要注意」

吉 崎 緑 里 氏 (株)ナイガイ

準特選

「労働災害ゼロ 明るい未来 家族のしあわせ」

野 路 昌 宏 氏
セコムジャスティック北陸(株)

【標語の部】

特選

「聞いたふり」「見たふり」しないで もう一度
安全点検 異常なし

大 玉 俊 和 氏 (株)法美社

準特選

「めんどうで その時良くても 倍返し!!」

出 口 雅 嗣 氏 (株)ナスカ敦賀支店

労務委員会委員長賞

「安全は 人に頼るな 任せるな
一人ひとりが 責任者」

中 野 天 聖 氏 (株)ナスカ敦賀支店